

平成 23 年度 第 1 回常任委員会議事録

1. 期 日；平成 23 年 7 月 28 日（木）
2. 会 場；青森県むつ市・下北文化会館
3. 出席者；濱谷、高田、釜井、池田(博)、高橋、池田(恭)、安藤、大槻、豊田、松本、山西、根岸、伊勢、恒松、諸江、森、村田
4. 議事
 1. 挨拶；全国高体連 F 部長（濱谷）
青森県専門部長代理（大馬）
 2. 後催地挨拶；富山県実行委員会（谷内）
 3. 23 年度総体について（むつ市実行委員会；畑中）
 - ・参加者数、参加校数につて
 - ・式典について…太田選手のビデオメッセージあり
 - ・配布物について
 - ・競技会場、練習会場、輸送、用具検査、弁当について
 - ・緊急時の対応について
 4. 第 36 回選抜大会について（愛知県；豊田）
 - ・日時、場所について…会場が例年よりも遅くなる
 - ・宿舎について…セントレア空港近辺を予定
 5. 24 年度総体について（富山県；谷内）
 - ・実施要項、競技会場について
 - ・HP は新潟県のを参照
 6. 24 年度以降の大会について
7. 議事
 - (1) 報告事項
 - ①専門部行事報告（濱谷）
 - ②第 1 回競技委員会報告（伊勢）
 - ・無意欲試合について…高体連はプール戦も適用
 - ・リレー方式について…長崎選抜から導入したい
 - ③全国高体連報告（釜井）
 - ・震災による会場地の変更あり
 - ・中止になった選抜大会の決算報告を出す
 - ・法人格になるために専門部会計が大きく変わる
 - ④日本協会報告（釜井）
 - ・ロンドン五輪で 5 つのメダル獲得が最大目標
 - (2) 協議事項
 - ①22 年度決算報告（根岸）…承認
 - ・収入の雑収入は、選抜大会未実施のための賠償責任保険の返金

- ・支出の各項目説明あり
 - ・監査報告は全国委員会で行う
- ②23・24年度役員案…承認
- ③23年度専門部行事予定案（瀨谷）…承認
- ・行事予定について説明有り
- ④23年度予算案（根岸）…承認
- ・予算書について説明有り
 - ・別表について説明有り…新しい予算書の形式について
 - ・全国高体連へは新形式で提出、専門部へは従来通りの予算書で出す
- ⑤競技委員会提案事項（伊勢）…承認
- ・リレー方式の導入は長崎選抜からとしたい
 - ・試合方法は2分45本とし、プール戦は残して実施
 - ・総体への導入はタイムテーブル上難しい。導入には個人戦の参加人数を減らすなどの措置が必要
 - ・反対を表明している20の県を納得させる必要があるのでは？
 - ・導入後、選抜と総体の試合形式が異なり、シード問題が出てくる
 - ・2名での試合が出来なくなる
 - ・全国委員が、専門部HPに意見を年内に入れてもらう
 - ・最終的には2月常任委員会で決定する
- ⑥都道府県提案事項…承認
- (1)インターハイのピスト数を規約規定上「8ピスト」ですが「10ピスト」に変更してはどうか？(長野県・大槻先生)
- 全国高体連から「経費削減・規模縮小」の指導が出されている。ピスト数を8から10への変更は種目参加人数削減につながる恐れがあるため、変更は厳しいと考えている。規定は変えずに開催地へ8ピスト以上を設置して欲しいとお願いする方向で考えている。
- (2)インターハイの電気装置と用具について、同一メーカーを削除してはどうか？(長野県・大槻先生)
- 選手に同一条件で試合を行わせる趣旨で定めている。FIE基準を同一レベルの目安として、他メーカーについて調査し、同じレベルと判明した後に変更について検討したい。
- ・用具やピスト(メタルかハイブリットか)についても、同一条件を検討すべきではないか。
- 現状では厳しいものがある
- (3)高校総体での学校対抗戦でのリレー方式の導入について(大分県・中村先生)
- 現状では、総体への導入は考えていない
- ⑦その他
- (1)専門部「支援金」について（瀨谷）…承認
- ・各都道府県に震災被害調査をお願いしたところ、特に宮城県、茨城県の2県に大きな被害が出ていることが判明。この総体で「募金箱」を設置し、参加者に募金をお願いしたい。参加していない学校へは、全国委員を通じて呼びかけてもらいたい。
- 「募金箱」を設置する。担当常任委員は安藤とする。
- (2)規約規定集のHP掲載について
- ・今まで規約規定集配布を2年ごとに行ってきた。今後は、HPアップに変えてはどうか。
- 今年度からHPアップに変更し、印刷配布は行わない
- ⑧23年度加盟校について（山西）